

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		小・中学校連合作品展				所管	教育委員会	
							指導課	
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名		事業の開始・終了年度	
	長期総合計画体系	[基本目標]						
		[小柱]					[事業開始]	年度
		[施策]					[終了予定]	- 年度
	根拠法令等	その他		[法令等名]	案件ごとに起案			
	事業対象	小・中学校児童生徒						
	事業目的	児童・生徒の表現力や想像力の育成を図る。						
	事業内容	2月中旬に東京都美術館で開催する展覧会で区立小・中学校の児童・生徒の作品を展示し、鑑賞の機会を設ける。(平成23年度は東京都美術館の改修工事に伴い、場所を東京藝術大学美術館に変更し、東京藝術大学へ研究委託して実施。)						
委託の有無	一部委託		委託内容	会場設営,作品展示用品作成				
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	参加校 (校)		26	26	26	26	
	成果指標	作品展示数 (点)		4,000	4,000	4,000	4,000	
	決算額 (単位:千円)				3,603	709	661	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト (人件費など)			180	167	170	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			3,604	709	661	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			0	0	0	
		総経費			3,784	876	831	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0	
一般財源 (区負担額)			3,784	876	831			
前年度から改善した事項		一部使用している展示用品の見直しを行った。品質を維持しつつ、コスト面で効率性が向上した。						
評価の視点		評価	評価の理由					
	必要性	3	各校の児童・生徒がお互いの作品を鑑賞し、豊かな表現や広い想像力を養う機会となっている。全校が積極的に参加しており、高いニーズが認められる。					
	効率性	3	一部使用している展示用品の見直しを行った。品質を維持しつつ、コスト面で効率性が向上した。					
	手段の適切性	3	会場に関する大きな問題もあがっていない。予算配分のバランスも適切である。					
	目的達成度	4	会場規模を活用した多くの作品を展示。事業目的を満たす鑑賞の場を提供することができている。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了
参加校の相互交流の場として有効に機能している。児童・生徒の情操教育推進を目的に、引き続き事業を実施していく。							維持	